



危険有害成分 : 硝酸ガドリニウム六水和物

#### 4. 応急措置

吸入した場合 : 直ちに新鮮な空気のある場所に移し、鼻をかませ、うがいをさせる。  
 皮膚に付着した場合 : 直ちに付着部を多量の水で十分に洗い流す。  
 目に入った場合 : 直ちに流水で15分以上洗い流し、必要に応じて眼科医の処置を受ける。  
 飲み込んだ場合 : 直ちに水または食塩水を飲ませて吐かせる。必要に応じて医師の処置を受ける。

#### 5. 火災時の措置

消火剤 : 水、粉末・二酸化炭素、乾燥砂、泡  
 使ってはならない消火剤 : 特になし  
 特定の消火方法 : 速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器および周囲に散水して冷却する。

#### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置  
 : 作業の際は適切な保護具を着用し、飛散したものなどが皮膚に付着したり、粉塵を吸入しないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い  
 技術的対策 : 皮膚に付いたり、粉塵を吸入しないように適切な保護具を着用する。有機物、いおう、りんなどの可燃性物質と混合しないようにする。  
 保管  
 適切な保管条件 : 吸湿性があるので、容器は密栓して冷蔵保管する。(0-6℃)  
 可燃物を近くに置かない。  
 安全な容器包装材料 : ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレンなど

#### 8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。  
 管理濃度 : 設定されていない  
 許容濃度  
 日本産業衛生学会 (2009年度版)  
 : 設定されていない  
 ACGIH (2009年度版)  
 : 設定されていない  
 保護具  
 呼吸器用の保護具 : 必要に応じて防じんマスクを着用する  
 手の保護具 : 不浸透性保護手袋  
 眼の保護具 : ゴーグル型保護眼鏡

#### 9. 物理的及び化学的性質

形状 : 結晶または粉末  
 色 : 無色-白色  
 臭い : 無臭  
 沸点 : 分解  
 融点 : 91℃

引火点 : 不燃性である  
 密度 : 2.332g/ml (20℃)  
 溶解性  
   溶媒に対する溶解性 : 水 ; 易溶  
                               有機溶媒 ; エタノールに易溶

#### 10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常条件で安定である。  
 反応性 : 粉末状の可燃物と混合したものは、加熱、衝撃により激しい燃焼または爆発を  
           起こすことがある。  
           還元剤と接触すると反応することがある。  
 混触危険物質 : 酸化剤、可燃性物質  
 危険有害な分解生成物 : 窒素酸化物

#### 11. 有害性情報

急性毒性 : 経口：データ不足のため分類できない。  
           経皮：データ不足のため分類できない。  
           吸入（蒸気）：データ不足のため分類できない。  
           吸入（粉塵・ミスト）：データ不足のため分類できない。  
 皮膚腐食性・刺激性 : データ不足のため分類できない  
 眼に対する重篤な損傷・刺激性 : データ不足のため分類できない  
 呼吸器感作性又は皮膚感作性 : 呼吸器感作性：データ不足のため分類できない  
                                   皮膚感作性：データ不足のため分類できない  
 生殖細胞変異原性 : データ不足のため分類できない  
 発がん性 : データ不足のため分類できない  
 生殖毒性 : データ不足のため分類できない  
 特定標的臓器・全身毒性－単回暴露 : データ不足のため分類できない  
                                   多量に経口摂取すると、血圧降下、メトヘモグロビン血症、頭痛、めまいなど  
                                   を起こすことがあるが、データ不足のため分類できない。  
 特定標的臓器・全身毒性－反復暴露 : データ不足のため分類できない  
 吸引性呼吸器有害性 : データ不足のため分類できない

#### 12. 環境影響情報

生態毒性  
   魚毒性 : 水生毒性（急性）：データ不足のため分類できない  
           水生毒性（慢性）：データ不足のため分類できない  
 残留性／分解性 : データなし  
 生態蓄積性 : データなし

#### 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 多量の水で希釈して、pHを中性に調整した後、下水に流す。不溶物はろ過して埋め立て処理を行う。または、都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理をする。

容器 : 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

#### 14. 輸送上の注意

##### 国内規制

消防法 : 危険物第1類酸化性固体硝酸塩類第3種酸化性固体

道路法 : 施行令第19条の13（通行制限物質）

船舶安全法 : 危規則第3条危険物告示別表第1酸化性物質類

航空法 : 施行規則第194条危険物告示別表第1酸化性物質類

国連分類 : クラス5.1（酸化性物質）等級Ⅲ

国連番号 : 1477

##### 輸送の特定の安全対策及び条件

: 輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷くずれの防止を確実に行う。

緊急時応急措置指針番号 : 140

##### 海上規制情報

UN No. : 1477

Proper shipping name : NITRATES, INORGANIC, N. O. S.

Class : 5.1

Sub risk : -

Packing group : Ⅲ

Marine pollutant : Not applicable

##### 航空規制情報

UN No. : 1477

Proper shipping name : Nitrates, inorganic, n. o. s.

Class : 5.1

Sub risk : -

Packing group : Ⅲ

#### 15. 適用法令

消防法 : 危険物第1類酸化性固体硝酸塩類第3種酸化性固体（1000 kg）

化学物質管理促進法 : 非該当

毒物及び劇物取締法 : 非該当

労働安全衛生法 : 施行令別表第1危険物（酸化性の物）

船舶安全法 : 危規則第3条危険物告示別表第1酸化性物質類

航空法 : 施行規則第194条危険物告示別表第1酸化性物質類

港則法 : 施行規則第12条危険物告示酸化性物質類

#### 16. その他の情報

##### 引用文献

化学大辞典 共立出版社（1963）

Dangerous Properties of Industrial Materials, 6th ed. N. I. Sax他編  
Van Nostrand Reinhold Company(1984)

\*この安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取り扱いには充分注意して下さい。なお、注意事項は通常の手扱いを対象としたものであり、特殊な取り扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施して下さい。また、含有量、物理／化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。この安全データシート(SDS)は、JIS Z7253に基づいて作成しており、JIS Z7250:2010に基づいて作成した製品安全データシート(MSDS)と記載事項は同一です。